

慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」 キーワード「努力夢現」「挑戦と煌」

不器用でもいい、真っすぐに伝えたい・・・ありがとう

校長 高波 國夫

♪『“ありがとう”って伝えたくてあなたを見つめるけど・・・』と、いきものがかりの『ありがとう』という曲ではありませんが、6月は「ありがとう」という気持ちを、お互いに伝えたくなる月となりました。

まず、6月初旬、3年生最後の学校総合体育大会。いい姿を見せてくれて、ありがとう。これまで応援していただきありがとうございます。感謝、感謝です。そして、6月中旬の体育祭。実行委員長の●●●さんに聞いてみると「初めてのことが多くて、いろいろ試行錯誤して大変なところもあったけど、学年種目も、全体で行う集団走なども、慈中生全員で協力してできてよかったです。」副実行委員長の●●●さんは「最初の集団走は、別々に練習してきたので揃えられるか心配でした。ですが、本番、動きをピタッと揃えることができ、体育祭に向けてみんな同じ気持ちで取り組んできたんだな、素晴らしいと思いました。また、他学年が競技を行っていた時に、観戦している生徒が応援し合っていたこともよかったです。」3年学年種目「応援合戦」を披露してくれた3年生の●●●さんは「うちのクラスは意見のぶつかり合いで少し喧嘩をしましたが、それがあったからこそ、いいものができ、楽しくできたんだと思います。他クラスも振り付けや隊形移動など試行錯誤して楽しくやっているのを見てよかったです。」と感謝の気持ちを語ってくれました。保護者の皆様、地域の皆様、応援していただき、誠にありがとうございました。



また、6月下旬の1年生「地域を知る」では、参加した●●●さんは「今まで知らないことをたくさん学べてよかったです。防災以外の身の回りのことも教えていただき、大変ためになりました。」各自治会の皆様、地区ごとに防災について教えていただき、本当にありがとうございました。

その他にも、ボランティア活動で、プール清掃をしてくれた体育係とサッカー部のみなさん、ありがとう。6月下旬の青少年育成会主催の親子いもほりボランティアには42名の生徒が参加し、●●●さんは「ジャガイモをスコップで掘ったのですが、なかなか土が硬くて農業は大変なんだなと身をもって体験できました。小さい子には、何回か指示を出す伝わったので、ボランティアも勉強になるなと思いました。そして、日々支えていただいている青少年育成会の方々の有難さや地域の方々の温かさを改めて感じました。」と教えてくれました。青少年育成会の方からも「中学生がよく働いてくれて、助かったよ。」「終わった後、通りかかった生徒さんが『ありがとうございました』と言ってくれ、こちらも『ありがとうね』『気を付けてね』と言ったんですよ。本当にいい子たちですね。」と教えてくれました。何か一緒にやると、心が通い、温かいあいさが広がって、「人の輪」ができてくるということを実感しました。ぜひ、手があると助かることがありましたら、慈恩寺中までお声がけください。



青少年育成会からいただいた活動の掲示物

最後に、夏休みに向けて。慈恩寺中の5・6月の貸出冊数は1日35冊、素晴らしい。図書館司書の●●●さんにお聞きしたところ「今、さらに、たくさん新しい本も入っています。夏休みに向けて、7月から特別に2学期初めまで貸出しますので、ぜひ、たくさん本を借りてください。」とのことでした。7月、県大会に出場するバドミントン部の●●●さんは「2人で協力して息を合わせて頑張ります。」●●●さんは「普段の練習の成果を大会で協力して出したいです。」と力強く語ってくれました。7月は、1学期のまとめをし、充実した夏休みに向け、計画を立てていきましょう。



新しく設置した図書室の図書を、ぜひご利用ください。図書室の図書は、ぜひご利用ください。図書室の図書は、ぜひご利用ください。